

私は現在61歳で、世代としては団塊世代の次にあたり、高度経済成長期の最初の世代です。私が子どもの頃の正月は、元日

の朝に氏神様や家の神棚、井戸、玄関等におそなえを供し、朝食に母の手作りの雑煮やおせち料理を食べ、父は日本酒を飲む、といった日本の一般家庭の正月を過ごしていました。

朝食の後は近くの神社に初詣に行き、届いた年賀状に目を通し、返事を書く。このことも元日の習慣の一つです。今も私の家は、日本酒を除いて当時と同じ元日の過ごし方をしています。

現在の正月とこうじ、年賀状はメールに姿を変え、おせちは手作りではなく市販のものが人気となり、家族や親せきが集まつての一家だんらんも過去のこととなりつつあります。

変わらないのは、子供も達のお年玉をもらひの楽しみ、喜びくらいでしあうか。

時代の変化とともに正月の姿が変化する」とは当然ではありますが、昔を知る一人としては寂しい思いもあります。

日本の社会には、一年の中で多くの伝統的な行事・風習・イベントがあります。時代が移り変わり、現代化していく中においても、日本ならではの良き伝統は大切に守っていきたいと思います。



Column 市長コラム



正月

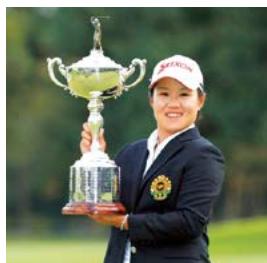
今月のピックアップ

オリンピック聖火ランナーに 畠岡奈紗さんが決定

今年開催の東京五輪聖火リレーの県内を走る聖火ランナーに、我が家が笠間市の誇り、畠岡奈紗選手が決定しました。

また、聖火リレーが行われる日本全国47都道府県のルートも発表されました。3月26日に福島県を出発し、茨城県は45番目で7月5日、6日の両日に16市町で実施されます。笠間市は県内10回（7月5日）のルートに決定しました。

スタートは笠間芸術の森公園で国道355号を通り、笠間稻荷神社がゴールとなっています。オリンピック・パラリンピック競技も楽しみですが、新たな楽しみが増えました。



■畠岡奈紗さん (プロゴルファー) コメント

「二度と無いことだと思いますので、そのことをしっかりとからかみしめて走りたいと思います。」